

11. 高温金属板の弛み測定

高温に熱せられた**金属板の弛み**を、ライン上で連続して**非接触で測定**できます。

マイスタ-MCM2000 MYM3100 シリーズです。

測定原理

シールドされた電極を
金属板の上に離します

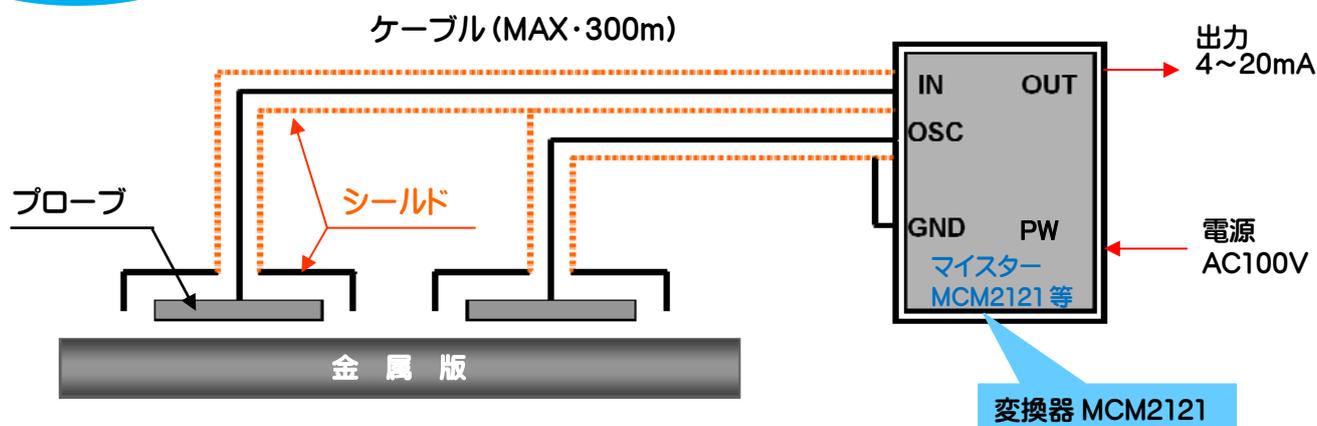
電極と金属板と間の
電気特性を測定しま
す

電極と金属板との
距離がわかります。
電極が固定されていれば
金属板の弛みが容易に
測定できます。

シールドされているのが本製品の特徴です。

マイスターシリーズは、電極頭部には電子回路を必要とせず電子回路を 300m の距離でも設置可能で静電容量等の影響を受けずに測定できます。

機器構成



使用方法

プローブ → 高温に耐えるように、特殊設計します。

使用ケーブル → 2芯個別シールドを 300m 以内で使用します。

変換器 → 万能電極式レベル計として開発された **マイスタ-MCM2121** を使用します。特に精度を要求しなければ **MYM3110** と1枚の **平板プローブ** との組み合わせで十分です。